

愛媛県立中央病院東洋医学研究所活動報告

所長	光藤英彦
部長	山岡傳一郎
専攻医	若松貴哉
鍼灸部	村山功
	上郷樹夫
	玉井弘文
	山見宝
	益田修 (3月退職)
	真鍋昭生 (4月から)
研修鍼灸師	谷口一也
	古野史花
	椎谷美保 (4月から)
	米原誠 (4月から)
研修医師	
薬局	梶川康子
	赤崎達子
看護部	福岡文子
	山内和子 (6月転出)
	武智久美子 (6月から)
事務	黒田賀世 (5月退職)
	戸田安津子 (6月退職)
	石丸真理 (4月から)
	佐々木鈴花 (6月から)

1. 研究所概要と診療状況

愛媛県立中央病院東洋医学研究所は1979年(昭和54年)8月開設以来、今年(2004年)で節目の25年目を迎えた。四半世紀にわたり東洋医学、とりわけ灸療の普及に力を入れてきたが、山あり谷ありの四半世紀であった。最近ようやく景気回復の報道が一部で取り上げられてきているが、医療を取り巻く環境はまだまだ厳しい面が多々あり、明るい未来がなかなか見えてこない。しかしながら、これからますます高齢化社会となっていく日本において、東洋医学に対する需要は決して少なくない。東洋医学研究所が明るい地域社会の構築の一助になるよう所員一同、研究や診療活動に全力を尽くす覚悟である。

以下に、2003年度(1月～12月)の業績と活動内容を報告する。

①東洋医学研究所における診療について

私共の研究所は開所以来一貫して灸療主体の診療を続けてきた。過去20年は少しずつではあるが徐々に受診者数も増加傾向を続けていたが、ここ数年の受診者数は年間延べ18000人前後、新患者も600人前後と横這い状態が続いている。現在、

医師3名をスーパーバイザーとするオーディット体制のもと、鍼灸師5名を統括し、それぞれ漢方担当・鍼灸担当として2人担当制で診療に当たっている。また看護師2名、薬剤師2名の診療スタッフがそれぞれの見地、立場からチーム医療としてのQOL志向の統合医療を支えている。また「お灸文化」を21世紀以降へ残し発展させるための土台として、ボランティア施灸コーナーの開設や、地域社会における灸療ボランティアの支援を図る教室を開催している。

②東洋医学研修事業について

東洋医学に関する研修事業は、本来的には、医師、鍼灸師、薬剤師、看護婦、受付の5部門においてそれぞれ必要性があると考えられる。私共のところでは、医師と鍼灸部門での研修が始まったばかりである。将来的は上記5部門のすべての研修事業を試みる予定である。

医師部門では、平成5年度より東洋医学専攻研修医制度を設け、すでに専門的な臨床経験を積んだ専攻医が、毎年1名ずつ統合医学としての東洋医術(鍼灸・湯液両方)の研修を行っている。今までに4名の専攻医が育っている。将来東洋医学を専攻することを目的として全科的なローテイト研修を始めた新卒研修医が育ちつつある。また将来的には全国公募の研修医制度を実施することが期待されている。

鍼灸部門では、平成9年4月より鍼灸技術研修プログラムを開始した。この研修は、主に次の5つを目的としている。

- (1) 高齢社会における『お灸によるケア』の指導者としての技量の養成
- (2) 全人的病人把握法としての問診法(時系列分析法)のマスター
- (3) 鍼灸・漢方を含む東洋医学全般の学習
- (4) 現代医学の基礎学習と実施研修
- (5) 現代医療のチーム医療の中でのメディカルスタッフの一員としての臨床的鍼灸実践

今年で7年目を迎えた事業であるが、今までに10名の研修鍼灸師が研修を終え社会に飛び立っていった。中には2年目・3年目の研修スタッフとして研究所に残り、日々臨床研修に励んでいるものもいる。また西海町国保健康づくり推進事業として、平成8年度から5年間、国(厚生省)と町(西海町)の協力によって実施された灸療普及技術支援活動で協力を得た、福浦診療所の大川医師のもとでの、より実践に即した短期臨床研修も

計画している。研修生はこれまでは関西鍼灸短期大学や明治鍼灸大学の卒業生が主であったが、平成 12 年度から専門学校卒業生も受け入れる体制を取り、現在男子 1 名、女子 1 名の計 2 名の鍼灸師が研修中である。それぞれ熱心に所内スタッフから臨床実習と多方面の学習を積み重ねている。平成 16 年度も若干名の研修生を受け入れる予定で、今後も鍼灸技術研修事業は継続するつもりである。

看護部門に関しては、所長光藤が平成 10 年秋から愛媛県立医療短期大学の看護部門での講義を担当している。今後の看護部門における東洋医学的研修の礎が築かれるのではないだろうか。

③愛媛新聞カルチャースクール一般講座の終了と灸療ボランティア支援教室の開催について

東洋医学の啓蒙普及活動の一環として、平成 13 年度より毎月 1 回（第 2 土曜日）、愛媛新聞社において行われてきた一般講座『東洋医学と健康』が平成 15 年 3 月をもって終了した。東洋医学全般にわたっての講義や灸療実技のほか、昭和の名灸師として馴染み深い深谷伊三郎氏の著作『お灸で病気を治した話』から、各症候別の事例をとおしてツボに関する講義も行なった。毎回えひめ東医研の診療スタッフ（医師・鍼灸師・薬剤師など）が持ち回りで行ってきたが、諸般の事情により平成 15 年 3 月で終了となった。かわりに平成 15 年 4 月（毎年 4 回）から当研究所主催による『灸療ボランティア支援教室』を開催することとした。これは平成 13 年 3 月より所内にて開始した灸療ボランティア活動の延長線上と考え、地域社会において標準的な灸療の教養を身につけたボランティアの活動を支援することを目的とした教室である。対象者はえひめ東医研の患者のみならず、県立中央病院の患者・職員とその家族を中心に灸療ボランティアに関心のある人とした。内容として、健康灸のススメ・日常灸療の注意事項・標準的な灸療をするコツ・灸療の意義や適応症などを取り上げた。平成 15 年度は初級入門講座として 4 月・7 月・10 月・平成 16 年 1 月に開催した。また平成 16 年度からは中級講座の開催も予定している。この活動が地域社会における灸療ボランティア活動の拡大につながっていくことを期待したい。

④灸療ボランティア活動について

東洋医学研究所は開所以来、一貫して灸療を中心とした診療を続けてきた。四国地方は昔からお灸が盛んな土地柄で、県民にもなじみ深い療法として知られている。しかし近年、核家族化が進み一人暮らしのお年寄りや高齢者だけの家庭が増え、

自宅で背中にお灸のできない人が目立ち始め、研究所の診療システムになじまない人が多く見かけられるようになった。そこで、背部灸療のできない人たちに灸療の良さを理解してもらい、その普及と鍼灸師の研修を兼ねる目的で、平成 13 年 3 月より、スタッフ鍼灸師の指導下での研修鍼灸師による灸療ボランティアサービスの提供を以下の要領で開始した。

- (1) 対象者は東医研通院患者とし、通常の診療日以外に実施する（通常の再診と区別するため）。
- (2) 灸療ボランティア活動は午後のみとし、研修鍼灸師が担当する。
- (3) 灸療は背部灸療を中心とし、できるだけ自己灸療・家族灸療へ指導・誘導する。

2001 年（平成 13 年）3 月から 12 月までの延利用者総数は 317 名、月平均では 32 名、2002 年度（平成 14 年 1 月～12 月）では、延利用者総数は 668 名、月平均 56 名、2003 年度（平成 15 年 1 月～12 月）では、延利用者総数は 1751 名、月平均 146 名にのぼった。最近ではボランティア灸療の人員を確保するのが難しい状況になってきたが、「お灸文化」の存続・継承の牽引車として今後も引き続き行っていくつもりである。

⑤東洋医学啓蒙活動について

愛媛県内の各市町村だけでなく他の府県からの東洋医学全般の講演・健康まつりなどの実施依頼に対して、灸療による健康作りや講演会の開催及び灸療実技などを中心として、東洋医学の啓蒙活動に努めてきた。愛媛新聞カルチャースクールや、単発的な講演会などは以前からあったが、高齢化社会を迎えて東洋医学の需要が増大していくと予想され、これからは定期的な継続事業として力を注ぐつもりである。東洋医学にとって鍼灸と漢方が車の両輪に例えられるように、鍼灸だけでなく漢方薬の啓蒙にも力を注いでいきたい。

2. 学会報告

- 1) 若松貴哉：当研究所における患者層の変化。第 54 回日本東洋医学会総会福岡大会、アクロス福岡、福岡県福岡市、2003. 5. 16
- 2) 若松貴哉：当研究所における失眠穴についての調査。第 52 回全日本鍼灸学会学術大会（香川大会）、香川県県民ホール、香川県高松市、2003. 6. 8
- 3) 玉井弘文、光藤英彦：えひめ東医研灸療普及啓蒙活動報告。第 52 回全日本鍼灸学会学術大会（香川大会）、香川県県民ホール、香川県高松市、2003. 6. 8
- 4) 村山功、山岡傳一郎：手術後の健康障害・再

- 発不安の解消と QOL 障害の改善に有用であった症例. 第 52 回全日本鍼灸学会学術大会 (香川大会), 香川県県民ホール, 香川県高松市, 2003. 6. 9
- 5) 谷口一也, 山見宝, 山岡傳一郎, 光藤英彦: 鍼灸技術研修における時系列分析法の運用～えひめ東医研における試み～. 第 52 回全日本鍼灸学会学術大会 (香川大会), 香川県県民ホール, 香川県高松市, 2003. 6. 9
 - 6) 上郷樹夫, 光藤英彦: 喘息症状が灸療によって改善されたと思われる 55 才男性の一治験例. 第 52 回全日本鍼灸学会学術大会 (香川大会), 香川県県民ホール, 香川県高松市, 2003. 6. 9
 - 7) 光藤英彦: 愛媛東医研の抱えてきた 2 つの課題について (診療上の課題と研究上の課題). 第 52 回全日本鍼灸学会学術大会 (香川大会) 特別講演, 香川県県民ホール, 香川県高松市, 2003. 6. 9
 - 8) 光藤英彦: 愛媛東医研の抱えてきた 2 つの課題について (診療上の課題と研究上の課題). 第 12 回日本刺絡学会学術大会 (会頭講演), 森ノ宮医療学園専門学校, 大阪府大阪市, 2003. 6. 29
 - 9) 真鍋昭生, 山岡傳一郎, 光藤英彦: 左臀部周辺のダルサ・痛みを主訴とする 59 才女性の一症例. 第 12 回日本刺絡学会学術大会 (会頭講演), 森ノ宮医療学園専門学校, 大阪府大阪市, 2003. 6. 29
 - 10) 若松貴哉: 瘀血証体質者に対して刺絡術および駆瘀血剤を用いて有効であった症例. 第 12 回日本刺絡学会学術大会, 森ノ宮医療学園専門学校, 大阪府大阪市, 2003. 6. 29
 - 11) 村山 功: 井穴刺絡の実際と今後の展望について. 第 12 回日本刺絡学会学術大会 (シンポジウム), 森ノ宮医療学園専門学校, 大阪府大阪市, 2003. 6. 29
 - 12) 村山 功, 山岡傳一郎: 子宮ガン手術後の健康障害・再発不安の改善例. 日本東洋医学会中四国支部, 第 29 回愛媛県部会, 松山市医師会館, 愛媛県松山市, 2003. 9. 14
 - 13) 上郷樹夫, 光藤英彦: 生理痛が細絡刺絡によって改善されたと思われる 33 才女性の一症例. 日本東洋医学会中四国支部, 第 29 回愛媛県部会, 松山市医師会館, 愛媛県松山市, 2003. 9. 14
 - 14) 山見 宝, 光藤英彦: 裏熱煩熱の証及び又は久熱の証とみて白虎加桂枝湯及び又は大椎穴周辺の細絡の適応とみた一症例. 日本東洋医学会中四国支部, 第 29 回愛媛県部会, 松山市医師会館, 愛媛県松山市, 2003. 9. 14
 - 15) 若松貴哉: 慢性関節リウマチ症に対して鍼灸が奏効した一例. 日本東洋医学会中四国支部, 第 29 回愛媛県部会, 松山市医師会館, 愛媛県松山市, 2003. 9. 14
 - 16) 谷口一也, 山岡傳一郎: 主病症の耳鳴り・難聴のうち耳鳴りが改善した一事例. 日本東洋医学会中四国支部, 第 29 回愛媛県部会, 松山市医師会館, 愛媛県松山市, 2003. 9. 14
 - 17) 玉井弘文, 山岡傳一郎: 子宮筋腫術後に増悪した氣逆を伴う頸肩腕症候群の一治験例. 日本東洋医学会中四国支部, 第 29 回愛媛県部会, 松山市医師会館, 愛媛県松山市, 2003. 9. 14
 - 18) 梶川康子, 山岡傳一郎, 赤崎達子, 光藤英彦: 麻黄について. 日本東洋医学会中四国支部, 第 29 回愛媛県部会, 松山市医師会館, 愛媛県松山市, 2003. 9. 14
 - 19) 真鍋昭生, 山岡傳一郎: 気管支喘息の一例. 日本東洋医学会中四国支部, 第 29 回愛媛県部会, 松山市医師会館, 愛媛県松山市, 2003. 9. 14
 - 20) 山岡傳一郎: 新卒後臨床研修制度における研修目標到達可否の予測. 第 42 回全国自治体病院学会 (岩手大会), 岩手県民会館, 岩手県盛岡市, 2003. 10. 10
 - 21) 真鍋昭生, 山岡傳一郎: 気管支喘息の一例. 第 41 回愛媛県病院学会, 愛媛県医師会館, 愛媛県松山市, 2003. 11. 1
 - 22) 山見 宝, 光藤英彦: QOL の向上に寄与したと思われる一症例. 第 41 回愛媛県病院学会, 愛媛県医師会館, 愛媛県松山市, 2003. 11. 1
 - 23) 赤崎達子, 梶川康子, 山岡傳一郎, 光藤英彦: 「生薬集」作成と服薬指導への応用について. 第 41 回愛媛県病院学会, 愛媛県医師会館, 愛媛県松山市, 2003. 11. 1
 - 24) 若松貴哉: 慢性関節リウマチに鍼灸術が奏効したと思われる一例. 第 32 回日本東洋医学会中四国支部総会 (山口大会), 海峡メッセ下関, 山口県下関市, 2003. 11. 16
 - 25) 谷口一也, 山岡傳一郎: 主病症の耳鳴り・難聴のうち耳鳴りが改善した一事例. 第 42 回日本臨床鍼灸懇話会全国集会大阪大会, 森ノ宮医療学園専門学校, 大阪府大阪市, 2003. 11. 29
3. その他の報告、講演等
- 1) 玉井弘文: お灸の上手な据え方・ツボの見つけ方. 小田町福祉講座, 小田町役場, 愛媛県

- 小田町, 2003. 3. 10
- 2) 山岡傳一郎:「医療連携」について. 調査月報 TRC4 月号, 2003. 4
 - 3) 真鍋昭生: 健康灸について. 野村町健康教室, 野村町役場, 愛媛県野村町, 2003. 7. 22
 - 4) 村山 功: お灸と健康について. 喜佐方地区老人クラブ健康教室, 喜佐方公民館, 愛媛県吉田町, 2003. 9. 20
 - 5) 玉井弘文: 東洋医学と健康「お灸の効能と実技その①」. 松山市社会福祉協議会久米地区福祉講座, 久米公民館, 愛媛県松山市, 2003. 10. 13
 - 6) 村山 功: 「婦人科疾患についてその①」. 愛媛県鍼灸師会臨床報告会, 愛媛県視聴覚福祉センター, 松山市, 2003. 10. 19
 - 7) 上郷樹夫: 「婦人科疾患についてその②」. 愛媛県鍼灸師会臨床報告会, 愛媛県視聴覚福祉センター, 松山市, 2003. 10. 19
 - 8) 玉井弘文: 「婦人科疾患についてその③」. 愛媛県鍼灸師会臨床報告会, 愛媛県視聴覚福祉センター, 松山市, 2003. 10. 19
 - 9) 玉井弘文: 東洋医学と健康「お灸の効能と実技その②」. 松山市社会福祉協議会垣生地区福祉講座, 垣生公民館, 愛媛県松山市, 2003. 10. 20
 - 10) 山岡傳一郎: 伝統的な心とからだの癒し方. 愛媛県医師会えひめ健康セミナー, 愛媛県医師会館, 愛媛県松山市, 2003. 10. 26
 - 11) 真鍋昭生: 刺絡について. 刺絡研究会, 森ノ宮医療学園専門学校, 大阪府大阪市, 2003. 11. 9
 - 12) 真鍋昭生: 東洋医学と健康. 高齢者大学校講座, 愛媛県長寿社会振興センター, 愛媛県松山市, 2003. 11. 11
 - 13) 山見 宝: 東洋医学と健康. 高齢者大学校講座, 愛媛県長寿社会振興センター, 愛媛県松山市, 2003. 11. 18
 - 14) 光藤英彦, 玉井弘文: 灸療の意義と標準的なお灸の据え方. NPO 法人ライフサポート友伍鍼灸講習会, 松山市役所, 愛媛県松山市, 2003. 11. 15
 - 15) 山見 宝: 生活の中の東洋医学. 保内町保健環境課講演, 保内町福祉センター, 愛媛県保内町, 2003. 12. 12
 - 16) 光藤英彦: 愛媛東医研の抱えてきた 2 つの課題について (診療上の課題と研究上の課題). 全日本鍼灸学会雑誌 53 巻 5 号 p 578~587, 2003. 12